

AILIA Academy (アイリア・アカデミー)

AI時代のリーダーシップを内なる気づきから育む教育プログラム

AILIA* Academy(アイリア・アカデミー): AI時代のリーダーシップを内なる気づきから育む教育プログラム

*AILIA = AI × Leadership × Inner Awareness

提供元ウェブサイト: <https://www.zenschool.jp/ailia>

文書作成日: 2025年4月10日

連絡先: 株式会社enmono support@zenschool.jp

目次

- [1. 序論: AI時代における新たなリーダーシップの必要性](#)
 - [2. テクノロジーが進化するほど問われる人間性](#)
 - [3. AILIA Academyとは: 内なる気づきで未来を拓く](#)
 - [4. AI時代を照らす禅の智慧](#)
 - [5. リーダーシップのゴール事例: 内なる探求から社会へ](#)
 - [6. インサイト・ナビゲーター: 三木康司の動機と専門性](#)
 - [7. プログラムの特長: 他にはない学びの体験](#)
 - [8. プログラム構成: 6ヶ月間フルパッケージ](#)
 - [9. カリキュラム: 変容を促す4つのコアモジュール](#)
 - [10. 対象者: このような方へ](#)
 - [11. 期待される成果: AI時代のリーダーシップ変革](#)
 - [12. 投資対効果について: プログラム参加の価値](#)
 - [13. 参加者の声と変容の軌跡](#)
 - [14. 実施方法: 内と外、リアルとバーチャルを融合した学習体験](#)
 - [15. 会場: 没入感を高める学習環境](#)
 - [16. 受講にあたっての補足情報\(オフライン情報\)](#)
 - [17. よくあるご質問\(FAQ\)](#)
 - [18. お問い合わせ・申し込み方法](#)
-

1. 序論: AI時代における新たなリーダーシップの必要性

AILIA Academy (アイリア・アカデミー) は、「AI時代のリーダーシップを内なる気づきから育む教育プログラム」です。現代社会は、人工知能 (AI) 技術の急速な進化により、前例のない変化に直面しています。AIは効率性や分析能力において人間を凌駕する側面を持つ一方で、これまでのリーダーシップのあり方に対して新たな問いを投げかけています。

このような時代背景の中で、「AIでは代替できない、人間らしいリーダーシップを。」というメッセージが重要性を増しています。技術が進化すればするほど、効率やデータだけでは解決できない課題が浮き彫りになり、人間固有の資質に基づいたリーダーシップが求められるようになります。このプログラムは、まさにこの課題認識から出発しており、AI時代におけるリーダーが直面するであろう本質的な問いに応える形で設計されています。

2. テクノロジーが進化するほど問われる人間性

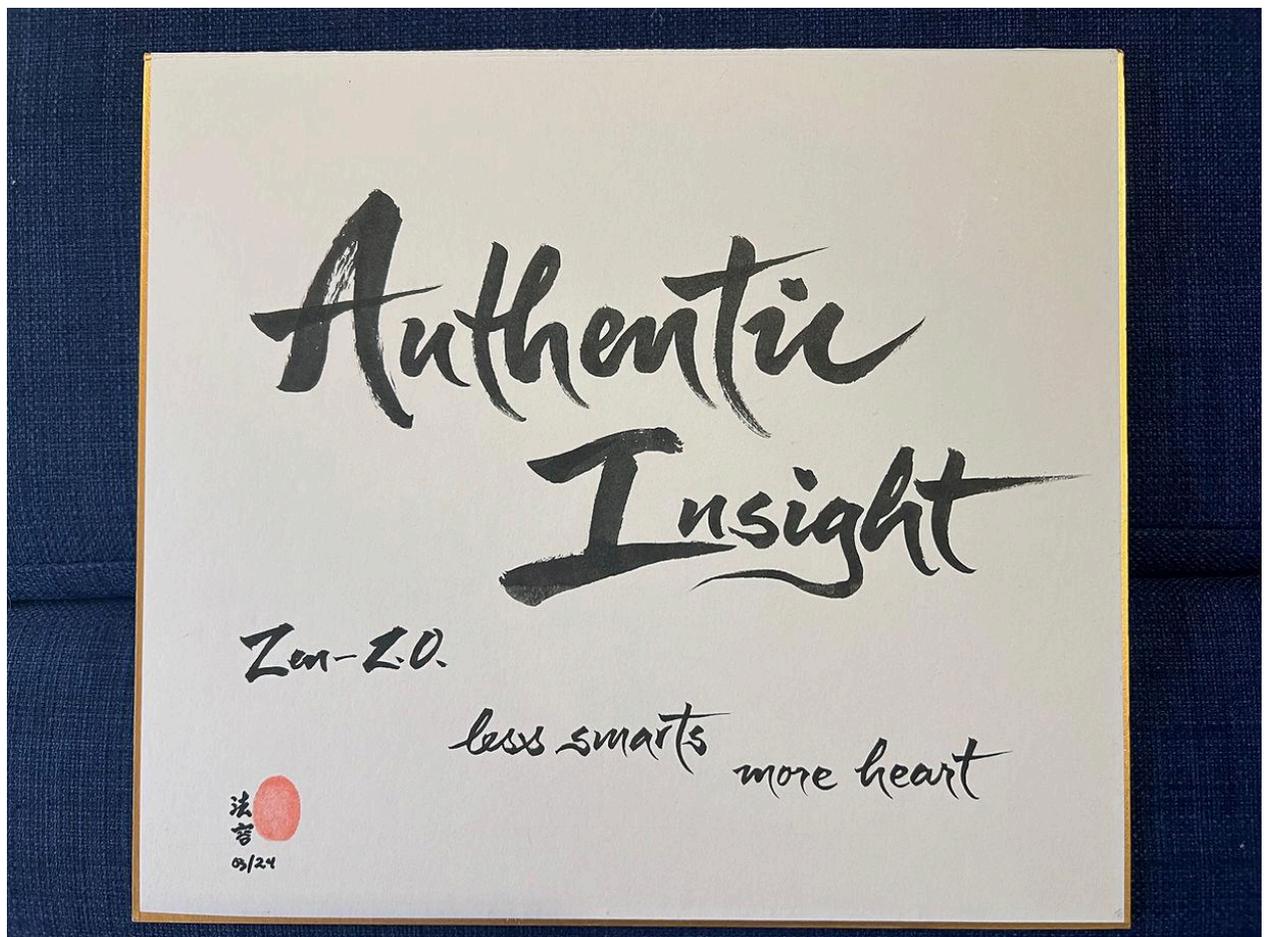
テクノロジー、特にAIの進化は、逆説的に人間性の重要性を高めています。AI倫理の問題、人間中心の価値観に基づいたテクノロジーの活用、そして変化に対応できる健全な組織文化の醸成は、現代のリーダーにとって避けて通れないテーマです。データやアルゴリズムだけでは、真に持続可能で人間的な未来を創造することはできません。

未来を創造するためには、深い洞察力、共感力、倫理観、そして目的意識といった、人間固有の知性に基づいたリーダーシップが不可欠となります。この視点は、テクノロジーが全てを決定するという考え方とは一線を画します。**AILIA Academy**は、テクノロジーはあくまで人間の目的達成のための手段であり、リーダーシップ開発もその原則に則るべきであるという哲学に基づいています。この人間中心のアプローチは、単なる技術研修とは異なる、本プログラムの核となる価値観を示しています。

3. AILIA Academyとは: 内なる気づきで未来を拓く

AILIA Academyは、AI時代に求められるリーダーを育成するために設計された教育プログラムです。しかし、そのアプローチは単なるスキルや知識の習得に留まりません。プログラムの核心は、参加者一人ひとりが自らの内面と深く向き合い、「揺るぎない軸」を見出すことにあります。

AI時代のリーダーは、外部環境の急速な変化や複雑な倫理的ジレンマに直面します。このような状況下で効果的に舵取りを行うためには、表面的なスキルだけでなく、内面の静けさと確固たる自己認識が不可欠です。**AILIA Academy**は、「静かに、しかし確かな軸で未来を導く」リーダーを育成することを目指しており、そのために内なる気づき (**Inner Awareness**) を重視する、他にはないアプローチを採用しています。これは、リーダーの「あり方」がその「行動」の質を決定するという考えに基づいています。

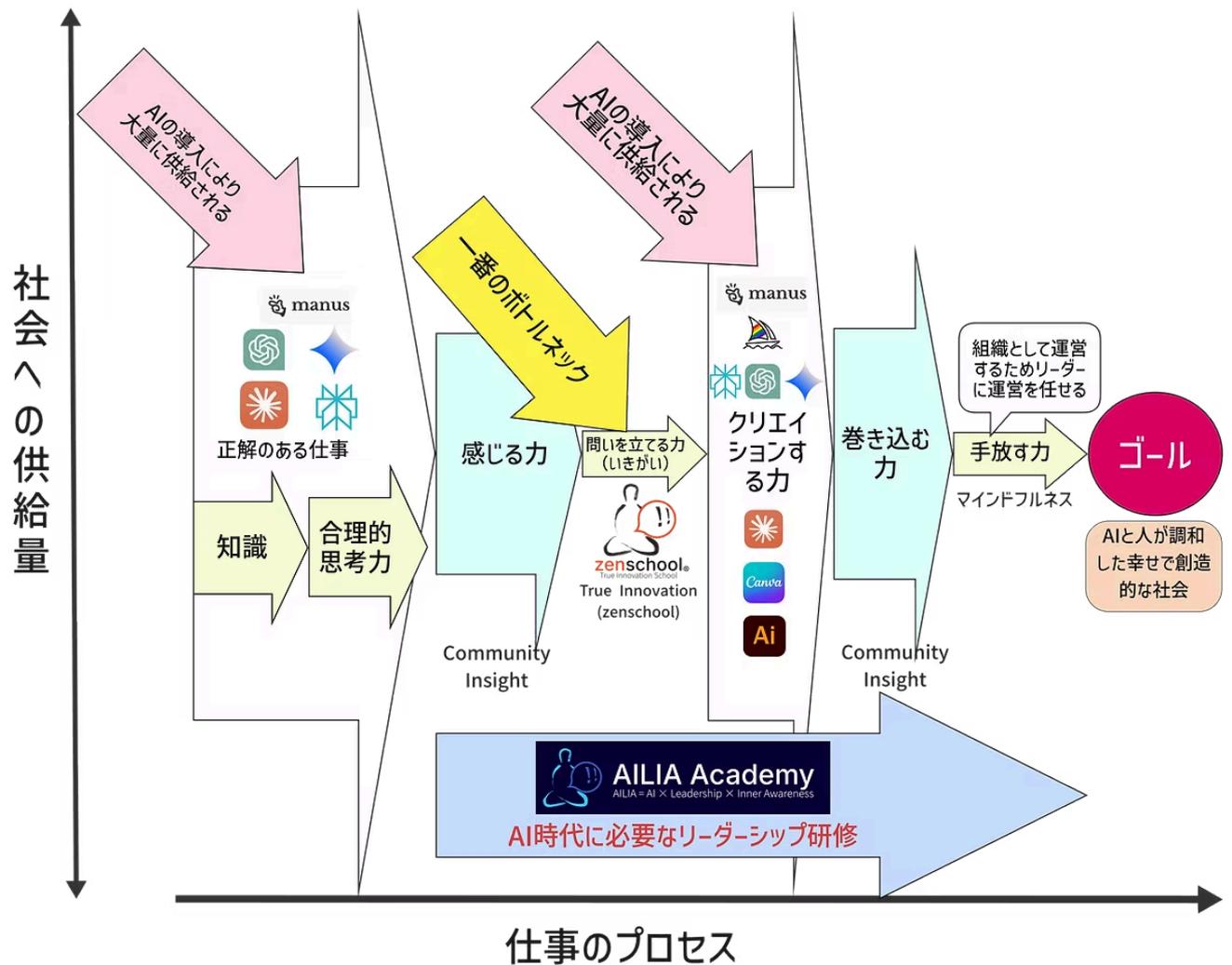


4. AI時代を照らす禅の智慧

AILIA Academyの独自性を際立たせているのが、禅やマインドフルネスの叡智をプログラムの基盤として積極的に取り入れている点です。特に、「Authentic Insight (本質的な洞察)」と「Less smarts, More heart (思考を減らし人間性を育む)」という二つのキーワードが、その哲学を象徴しています。

「Authentic Insight」は、情報過多で複雑な状況下でも、物事の本質を見抜く力を養うことを意味します。一方、「Less smarts, More heart」は、分析的な思考(smarts)に偏重することなく、共感力や直感、倫理観といった人間性(heart)を育むことの重要性を示唆しています。これらは、坐禅やマインドフルネスの実践を通じて培われます。AI時代特有の課題、例えば、複雑性への対応、倫理的な意思決定、急速な変化への適応などに対して、禅の智慧が具体的な解決策を提供し得ると考えられています。フランスの禅寺プラムヴィレヅジの僧侶、法容(Hōyō)師による書「Authentic Insight」も、この哲学を視覚的に表現しています。

AI時代のリーダーシップ



5. リーダーシップのゴール事例：内なる探求から社会へ

AILIA Academyが目指すリーダーシップ像を具体的に示すために、インサイト・ナビゲーターを務める三木康司（株式会社enmono代表）の実践例が紹介されています。彼の活動は、内なる探求から始まり、それがテクノロジーと共鳴し、コミュニティを育み、最終的にはより良い社会を導く、というAILIAが理想とするリーダーシップの軌跡を体現しています。

具体的には、中小製造業のイノベーション支援プログラム「zenschool」、マインドフルネス国際カンファレンス「Zen2.0」の主宰、そして鎌倉を舞台にした『Mindful City Kamakura』構想などが挙げられます。これらの活動は、プログラムで学ぶ内なる気づきや本質を見抜く力が、どのように具体的な行動や社会的なインパクトに繋がりを示す好例です。また、この事例を通じて、「インサイト・ナビゲーター」が単なる知識伝達者ではなく、参加者一人ひとりの内なる変容を伴走しながら支援する存在であることを示しています。抽象的な理念を具体的な実践例で示すことで、プログラムの目指すゴールがより明確に、そして実現可能なものとして伝わるよう努めています。



2024年3月 Co-ideation@Stockholmにて講演



6. インサイト・ナビゲーター: 三木康司の動機と専門性

プログラムの質は、それを導く指導者の質に大きく依存します。特に、内面的な変容を重視する **AILIA Academy** においては、ナビゲーターの経験、専門性、そして人間性が極めて重要です。中心的な役割を担うのは、インサイト・ナビゲーターの三木康司です。

ウェブサイトでは、三木がなぜAI時代のリーダーシップ育成に情熱を注ぐのか、その背景にある個人的な経験が語られています。自身のキャリアにおける挫折と坐禅との出会い、そしてそこから得た「真の変革は内なる気づきから始まる」という確信が、彼の活動の原動力となっています。zenschoolでの「True Innovation」支援を通じて培われた経験と、AI時代における人間固有の洞察力、共感力、倫理観の重要性に対する深い理解が、**AILIA Academy**の基盤を形成しています。**AILIA Academy**は、三木が長年培ってきた知見を、AI時代の文脈に合わせて深化させた学びの場として位置づけられています。

三木のプロフィールとして、写真、肩書 (**Speaker, Author, Organiser of Zen and IKIGAI in the Age of AI**)、株式会社enmono代表としての役割、詳細な経歴、実績、コアスキル、さらにはストックホルムでの基調講演といった国際的な活動も紹介されており、その専門性と信頼性を裏付けています。**Facebook**や**LinkedIn**へのリンクも提供されています。重要なのは、彼が単なる講師

ではなく、参加者の内なる声に耳を傾け、本質的な気づきと変容をサポートする「経験豊かな伴走者」としての役割を担う点です。この個人的なストーリーと専門性の組み合わせが、参加者との信頼関係構築に繋がり、プログラムの変革的な可能性を高めています。

7. プログラムの特長: 他にはない学びの体験

AILIA Academyは、その学習体験のデザインにおいても独自性を追求しています。単に知識を詰め込むのではなく、参加者の全人的な成長を促すための環境とプロセスが重視されています。主な特長は以下の通りです:

- **AI時代を照らす禅の智慧:** 坐禅やマインドフルネスの実践を通じて、内なる静けさの中で本質を見抜く力を養います。これは理論だけでなく、体験を通じて深く学びます。
- **鎌倉という特別な環境:** 歴史と自然が息づく鎌倉を舞台に、時には禅寺なども活用したワークショップを実施予定です。日常から離れた環境が、深い内省と気づきを促します。
- **少人数制による深い対話:** 参加者同士、そしてナビゲーターとの間で、本音で語り合える安全な場を提供します。多様な視点との出会いが、学びを豊かにします。
- **実践と内省の重視:** 学んだことを職場や実生活で試し、その経験を振り返るサイクルを重視します。理論と実践を結びつけることで、学びが定着し、行動変容に繋がります。
- **ハイブリッドな学習形態:** 集中度の高い対面セッションと、継続的な学びを支えるオンライン学習を組み合わせることで、深い学びと柔軟性を両立させます。

これらの特徴は、**AILIA Academy**が単なる研修ではなく、参加者にとって変革的な「旅」となるように設計されていることを示しています。学習内容(What)だけでなく、学習方法(How)にも細心の注意が払われており、環境、人間関係、実践、内省といった要素が相互に作用し、学びの効果を最大化することを目指しています。

8. プログラム構成: 6ヶ月間フルパッケージ

AILIA Academyが提供する最も包括的なプログラムは、「6ヶ月間フルパッケージ」です。これは、導入から深化、そして統合に至るまでの全プロセスを体験できるよう設計されています。

このパッケージには、以下の要素が含まれます:

- **対面セッション:** 全3回、各1日(7時間)の集中ワークショップ。深い内省と対話、体験的な学びの場となります。
- **オンラインセッション:** 月2回(各1.5時間)開催。継続的な学習、グループでの対話、実践の共有を行います。これには、zenschool卒業生とのフリーセッションやAI専門家の講演なども含まれる可能性があります。
- **4つのコアモジュール:** プログラムの中核となる学習内容(詳細は次項)。
- **実践的なプロジェクト:** 学びを実世界の課題に応用し、具体的な成果を目指すプロジェクト。
- **コミュニティアクセス:** プログラム期間中および終了後も、参加者やナビゲーターとの繋がりを維持し、継続的な学びと相互支援の機会を提供。

表8.1: AILIA Academy 6ヶ月間フルパッケージ概要

項目	詳細
期間	6ヶ月間
形式	対面セッション(全3回、各1日7H)、オンラインセッション(月2回、各1.5H、卒業生セッション・専門家講演含む)、実践プロジェクト、コミュニティアクセス

コアモジュール	4つのモジュール(自己理解とIkigai、共感力とコミュニケーション、本質を捉える問いとAI倫理、静かなリーダーシップと実践)
価格	850,000円(税別)
対象者	組織変革を推進するリーダー、AI導入責任者、次世代リーダー候補など
募集人数	定員12名(最小開催人数:6名)

9. カリキュラム: 変容を促す4つのコアモジュール



AILIA Academyの6ヶ月間プログラムは、参加者の変容を段階的に促すために設計された4つのコアモジュールを中心に構成されています。これらのモジュールは、内面の探求から始まり、対人関係、思考様式、そして実践的なリーダーシップへと、論理的に連関しながら展開されます。

- モジュール1: 自己理解とIkigaiの探求 ~AI時代の羅針盤を得る~

AIという変化の激しい時代において、自らの指針となる「羅針盤」を得るための基盤を築きます。自己の内面と深く向き合い、自身の価値観、強み、そして「生きがい(Ikigai)」を探求します。これにより、AIを自らの目的に沿って主体的に活用するための揺るぎない軸を確立することを目指します。

- モジュール2: AI時代の共感力とコミュニケーション ~テクノロジーと人の心を繋ぐ~

テクノロジーが浸透する社会や組織において、ますます重要となる共感力に焦点を当てます。オンライン、オフライン双方の環境で信頼関係を築くための対話法を実践的に学びます。AIと人間が効果的に協調し、互いの強みを活かせるチームや組織文化を育む方法を探求します。

- モジュール3: 本質を捉える問いとAI倫理 ~未来を洞察し、意味を創造する~

AIの進化がもたらす影響の表面的な事象に囚われず、その本質を見抜く力を養います。事業や社会のあるべき姿を構想するために、「本質的な問い」を立てるスキルを磨きます。同時に、AI導入に伴う倫理的な課題や潜在的なリスクを深く考察し、「何のためにAIを使うのか」という根源的な問いに向き合います。

- モジュール4: 静かなリーダーシップと実践 ~AIと共に、しなやかに導く~

これまでのモジュールで培った自己理解、共感力、本質を見抜く力を統合し、具体的なリーダーシップ行動へと繋げます。周囲を巻き込み、メンバーの自律的な成長を促す「静かなリーダーシップ」のあり方を学び、実践します。AI導入のような変革プロジェクトを、技術的な側面だけでなく、人間的な側面にも配慮しながら推進するための方法論とマインドセットを習得します。

このカリキュラム構成は、単なる知識の羅列ではなく、一貫した思想に基づいた体系的な学びの旅路を示しています。内なる自己認識(モジュール1)を起点とし、他者との関係性(モジュール2)、深い思考力(モジュール3)を経て、最終的に外界への賢明な働きかけ(モジュール4)へと至るプロセスは、AILIA Academyが目指す「内なる気づきから始まるリーダーシップ」を具現化するものです。

10. 対象者: このような方へ

AILIA Academyは、特定の課題意識や成長意欲を持つリーダーおよび次世代リーダーに向けて設計されています。単に役職で区切るのではなく、以下のような思いや状況にある方々に特に適しています：

- AIの急速な進化に対して、漠然とした不安や、自身のリーダーシップのあり方への問いを感じている方。
- 効率や成果だけでなく、人間性や倫理観に基づいた本質的なリーダーシップを発揮したいと考えている方。
- 組織内のエンゲージメント低下やコミュニケーション不全に課題を感じ、より良い組織文化を醸成したい方。
- テクノロジーを活用しつつも、人間中心の事業や組織を創造することに関心がある方。
- 自身の「生きがい(Ikigai)」と仕事を結びつけ、より意義のあるキャリアを歩みたいと願っている方。

具体的な対象者としては、経営者、管理職、次世代リーダー候補、人事担当者、イノベーション推進担当者などが挙げられます。重要なのは、役職に関わらず、現状のリーダーシップに限界を感じ、内面からの変革を通じて、AI時代の課題に対応できる新しいリーダーシップを模索しているという点です。プログラムは、このような内省的で価値観を重視する参加者が集うことで、少人数制の深い対話がより効果的に機能するように意図されています。

11. 期待される成果：AI時代のリーダーシップ変革

AILIA Academyへの参加を通じて、参加者個人、その所属組織、さらには社会全体に対して、多岐にわたる肯定的な変化が期待されます。成果は以下の3つのレベルで整理されています：

1. 個人の変容：内なる軸と外への影響力
 - 深い自己理解と揺るぎない軸の確立
 - 変化に対するレジリエンス(回復力)の向上
 - 本質を見抜く洞察力と意思決定力の強化
 - 共感力とコミュニケーション能力の向上
 - 自身の「いきがい」に基づいた目的意識の明確化
2. 組織の変革：共感と創造性に満ちた文化の醸成
 - 心理的安全性の高い、オープンな組織文化の醸成
 - メンバーの自律性とエンゲージメントの向上
 - 部門間の壁を超えた共創の促進
 - AI倫理に基づいたテクノロジー活用の推進
3. 社会への貢献：テクノロジーと人間性が調和する未来の創造
 - テクノロジーの進歩と人間の幸福が両立する社会の実現に貢献
 - 持続可能な社会システムの構築に向けた視座の獲得
 - 次世代のリーダー育成に対する意識の向上
 - 東洋の伝統的な知恵と現代テクノロジーを融合させる新たな価値創造

このように、個人の内面的な成長から、組織文化の変革、さらには社会的な貢献まで、幅広いレベルでの成果を提示することで、**AILIA Academy**は単なるスキルアップ研修を超えた、より深く広範な価値を提供することを目指しています。この多層的なインパクトの提示は、プログラムの持つ哲学

的深さと、参加者が目指すことのできる目的意識の大きさを反映しています。

12. 投資対効果について:プログラム参加の価値

AILIA Academy 6ヶ月間フルパッケージへの投資(850,000円 税別)は、参加者個人および所属組織にとって、短期的なスキル習得以上の、長期的かつ本質的な価値をもたらすことを目指しています。

定量化しにくいですが、重要なリターン:

- **リーダーシップの質的変革:** プログラムを通じて培われる深い自己認識、共感力、本質を見抜く力は、意思決定の質を高め、より効果的なリーダーシップ行動に繋がります。これは、数値化は難しいものの、組織のパフォーマンスや持続可能性に不可欠な要素です。
- **組織文化の改善:** 参加者が持ち帰る新たな視点やコミュニケーションスキルは、チーム内の心理的安全性を高め、エンゲージメントや創造性を向上させる可能性があります。これは、離職率の低下やイノベーションの促進といった形で、間接的に組織の収益性に貢献し得ます。
- **変化への適応力強化:** AI時代は不確実性が高く、変化が常態です。本プログラムで養われるレジリエンスや内なる軸は、リーダーが変化にしなやかに対応し、組織を適切に導くための基盤となります。これは、将来のリスクを軽減し、機会を捉える能力を高めることに繋がります。
- **イノベーションの促進:** 「いきがい」の探求や本質を問う力は、新たな事業機会の発見や、既存事業の変革を促す可能性があります。人間中心の視点からのイノベーションは、持続的な競争優位性の源泉となり得ます。

投資判断にあたって:

本プログラムへの投資は、短期的なROI(投資収益率)だけで測るべきものではありません。リーダーの「あり方」への投資であり、それが組織文化や長期的な成長に与える影響を考慮することが重要です。参加者自身の変容意欲と、組織としてその変容を支援・活用する姿勢が、投資効果を最大化する鍵となります。

13. 参加者の声と変容の軌跡

プログラムの効果を具体的に示すものとして、過去の参加者からの声が紹介されています。これらは、**AILIA Academy**がもたらす変容の実際を理解する上で貴重な情報源となります。

プログラム参加者の体験:

IT企業の部門責任者、製造業のマネージャー、スタートアップのCEOなど、多様なバックグラウンドを持つ参加者からの体験談が掲載されています。これらの声は、プログラムを通じて得られた内面的な気づき、リーダーシップスタイルの変化、困難な状況への向き合い方の変容など、個人のレベルで起こった具体的な変化を伝えています。

組織に生まれた変化:

大手サービス業の人事部長や金融機関のデジタルトランスフォーメーション責任者など、組織的な視点からの声も紹介されています。これらは、プログラム参加者の変化が、チーム内のコミュニケーション改善、部門間の連携強化、組織全体の雰囲気の変化といった、具体的な組織レベルでの好影響に繋がった事例を示しています。

14. 実施方法:内と外、リアルとバーチャルを融合した学習体験



AILIA Academyは、最大限の学習効果と変容を促すために、対面での深い学びとオンラインでの継続的な学びを組み合わせ、ハイブリッドな実施方法を採用しています。

1. 対面セッション: 深い内省と対話の場

- 鎌倉の禅寺や研修施設など、日常から離れた特別な環境で実施される集中ワークショップです。
- 少人数制により、参加者同士およびナビゲーターとの間で、質の高い、本音での対話が可能なた空間を提供します。
- 坐禅などの身体的な実践や、経験豊富なリーダーとの対話、さらにはチームビルディングを目的とした活動(サウナや禅的な会食なども可能性として言及)を通じて、五感を通じた深い学びと繋がりを育みます。

2. オンライン学習: 時間と場所を超えた継続的な実践

- 月2回のオンラインセッションを通じて、対面セッション間の学習の継続性を確保し、実践の共有や課題の議論を行います。
- 自己ペースで学習できるデジタルコンテンツや、日々の実践をサポートするツール、参加者同士が交流できるオンラインコミュニティも提供されます。
- **zenschool**卒業生とのフリーセッションやAI専門家による講演など、多様な学習機会へのアクセスもオンラインで提供されます。

3. プログラム構成(フェーズ)

6ヶ月間のプログラムは、大きく**3つのフェーズ**で構成されます: 導入フェーズ(最初の1ヶ月)、深化フェーズ(続く3ヶ月)、統合フェーズ(最後の2ヶ月)。これにより、学習が段階的に深まり、最終的に実践へと統合されるよう設計されています。

このブレンドされたアプローチは、対面セッションでの没入感と深い繋がり、そしてオンラインでの柔軟性と継続的なサポートという、双方の利点を最大限に活かすことを目的としています。忙しいリーダーたちが現実的な制約の中で参加しやすくすると同時に、表面的な知識習得に終わらない、真の変容に必要な時間と空間、そして多様な刺激を提供することを目指しています。

15. 会場:没入感を高める学習環境



プログラムの実施場所は、「[WITH Kamakura](#)」を予定しています。状況により変更する場合がありますので、ご了承ください。

16. 受講にあたっての補足情報(オフライン情報)

本プログラムへの参加を最大限に活かしていただくために、以下の点についてご確認ください。詳細については、参加確定後に別途ご案内いたします。

- 事前準備: プログラム開始前に、ご自身の課題意識や目標を整理するための簡単なワークシートへの記入や、関連する推薦図書のご読書をお願いする場合があります。
- 持ち物(対面セッション): 筆記用具、ノートPC(必要な場合)、リラックスできる服装(坐禅などを行う場合)、その他、セッション内容に応じて必要なものがあれば事前にお知らせします。
- セッション間の課題: 各モジュールの内容を深め、実務での実践を促すための課題(リフレクション、実践報告、小グループでのディスカッション準備など)が出されることがあります。主体的な取り組みが学びの効果を高めます。
- コミュニティ: プログラム期間中および終了後も、参加者同士やナビゲーターが交流できるオンラインコミュニティ(例: **Discord**、**Facebook**グループなど)にご招待します。積極的な情報交換や相互支援の場としてご活用ください。
- 欠席時の対応: やむを得ずセッションを欠席される場合は、可能な範囲で録画映像の共有や資料提供などのフォローアップを行います。ライブでの参加による体験や対話の価値は代替できませんので、可能な限り全日程への参加をお願いします。
- 機密保持: プログラムでは、参加者同士の相互尊重と信頼に基づき、誰もが安心して自身のアイデアを開示し、建設的なフィードバックを受けられる、心理的安全性の高い環境を醸成することを最も重要な価値の一つと考えております。その目的のために「**AILIA Academy**受講者・講師 相互守秘義務誓約書」を受講前に締結します。この誓約書は、プログラムの円滑な運営を確保するとともに、参加者の皆様の大切なアイデアや情報を保護し、上記のような安心して活動できる環境を維持することを目的としており、参加者の皆様を不必要に長期間拘束したり、自由闊達な意見交換や交流を不当に妨げたりする意図はありません。
- 修了要件: プログラムの修了認定には、一定の出席率や課題提出などが要件となる場合があります。詳細は別途ご案内します。
- 緊急連絡先: プログラム期間中の緊急連絡先については、参加確定後にご案内いたします。リアルタイムに情報共有が可能な、**facebook**グループを予定しています。

17. よくあるご質問(FAQ)

Q: どのような方を対象としていますか？

A: 中堅～大手企業の次世代リーダー候補、部門責任者、イノベーション推進担当者、AI導入に関わる意思決定者、自己成長に関心の高い経営者・起業家などを主な対象としています。業種は問いません。

Q: 瞑想や禅の経験がなくても参加できますか？

A: はい、初心者の方も安心してご参加いただけます。すべての実践は初めての方にもわかりやす

く丁寧に指導します。むしろ先入観なく取り組める点がメリットになることもあります。

Q: AIやテクノロジーに詳しくない場合でも参加できますか？

A: はい、テクノロジーの専門知識は必要ありません。むしろ多様なバックグラウンドを持つ参加者が集まることで、学びが深まります。

Q: プログラムの期間と時間的コミットメントはどの程度ですか？

A: 全体で6ヶ月間のプログラムです。対面セッション(計3回、各1日7H)、オンラインセッション 月2回(1.5H)(zenschool卒業生とのオンラインフリーセッション1回1.5H、AI専門家のオンライン講演1回1.5Hを含む)、日々の実践(15-30分/日推奨)などを予定しています。

Q: 社内向けカスタマイズは可能ですか？

A: はい、御社の課題や状況に合わせたカスタマイズが可能です。まずはお問い合わせください。

Q: 費用はどのくらいですか？

A: 個人参加の場合は1名あたり85万円～、法人契約の場合は人数や内容によって異なります。詳細は資料をご請求いただくか、お問い合わせください。

18. お問い合わせ・申し込み方法

AILIA Academyに関するお問い合わせや申し込みは、以下の方法で受け付けております。

- Webサイト: <https://www.zenschool.jp/ailia>
- メール: support@zenschool.jp

